

JLEM News Letter

Vol. 17



第22回日本語教育方法研究会開催

発表 21 件、参加者 120 名

第 23 回は広島大学にて

2004年3月20日(土)、第22回日本語教育方法研究会が横浜国立大学で開催されました。

お世話役を引き受けてくださった河野先生はじめ、横浜国立大学スタッフの皆さまに大変お世話になりました。

前日3月19日夕方、会場設営の後、運営委員会が開催されました。研究会当日には臨時総会が開かれました。内容については、このレターの記事をご覧ください。

なお、次回の研究会は、2004年9月18日(土)広島大学において開かれます。みなさまふるってご参加ください。

開催を終えて

河野俊之
(横浜国立大学)

当日は雨で寒い中、たくさんの方々にお越しいただきまして、ありがとうございました。特に懇親会にもご参加くださった皆さん、ありがとうございました。

寒くて、急遽ストーブを出し

てきたり、でも、火をつけるものがなかったり、ひじょうに煙たかったり、いろいろありました。また、教室の固定式の机の一部が工事で取り外されていたりで、いろいろご迷惑をおかけしましたが、次回からの会場係はひじょうにやりやすくなったのではないかと考えております。

私事ですが、次回の広島での会には参加できませんが、翌日の日本語音声教育方法研究会には参加する予定です。お泊りの方は、そちらのほうにもぜひご参加ください。

なお、自動販売機に残っていた900円は懇親会の赤字補填に使わせていただきました。どなたにお礼を申し上げたらよいのかわかりませんが、それについてもお礼を申し上げます。

ご参加くださったみなさん、ほんとうにどうもありがとうございました。

次回開催にあたって

松崎寛
(広島大学)

次回の研究会開催予定は、9月18日(土) in 広島です。

広島大学は東広島市の非常に不便なところがありますが、今回は、広島駅から走って2分の「広島市留学生会館」を会場にご用意いたしました。安芸の宮島や原爆ドームへのアクセスも良く、駅ビル内や駅の近くには、広島風お好み焼き屋が立ち並んでいます。また、研究会では久々に講演会の時間を設けたいと考えています。ぜひぜひ、みなさまお誘いあわせの上、ご参加ください。



運営委員会報告

第22回大会前日、3月19日午後5時30分より横浜国立大学で運営委員会を行いました。審議事項は、以下の通りです。

(1) 会則改定

WGを作って、2005年春改訂を目途に検討することになりました。

(2) ホームページ運営

JLEMのホームページができました。まだ試作段階ですが、ご覧ください。

<http://www.jlem.info/>

(3) 10周年記念論文誌発刊

シュテファン・カイザー氏を中心にJLEM10周年記念論文集の刊行のため、「10周年論文誌刊行委員会」が設置されました。2005年3月の発行を目途にしています。原稿執筆依頼者には、別途個別に連絡いたします。

(4) 会費未納者の扱い

これまで会費未納者には会誌をお送りしていませんでしたが、会員全員に送ることとし、未納者には督促状を同封することにしました。督促状が同封されていた方は、お早めにご入金ください。詳しくは別項をごらんください。

(5) 会計報告

平成15年度の会計報告、およ

び、16年度の予算が承認されました。

(6) 次期開催校

第23回大会を2004年9月18日(土)に広島で行うことを決めました。大会実行委員は松崎寛氏、会場は広島市留学生会館です。

(事務局 総田はるみ)

総会が

行われました

第22回大会当日の午後、仁科会長の司会により総会が開かれ、以下の議題について承認および討議が行われました。現会員数363名のうち、総会出席者が1/10をこえ、定足数を満たしましたので、総会が成立したことをご報告します。諮られた事項は、以下の通りです。

(1) 会長選挙報告

平成16年2月16日の会長選挙におきまして仁科喜久子氏が再選されたことが報告され、承認されました。任期は、2006年3月31日までです。

(2) 会則改訂WGについて

WGを作って、2005年春改訂を目途に検討することになりました。WGのメンバーは、松崎寛氏(広島大学)、小野正樹氏(筑波大学)、及び、会長、事務局です。

(3) ホームページ運営について

(4) 会員資格について

運営委員会で検討された会費未納者の扱いに関する規定案が

承認されました。

(5) 2003年度決算、2004年度予算について

(6) 次回研究会について

(事務局 総田はるみ)

会員資格について

(重要なお知らせ)

3月19日(金)に行われた運営委員会において、研究会会員の資格及び権利について審議が行われ、その結果が研究会当日の総会において了承されました。その内容について報告します。会員の皆様一人一人の権利だけではなく、今後の研究会の在り方にも関わる問題ですので、ぜひお目をお通しください。

まず、以下の2点が確認されました。

- 1) 研究会の年度は4月1日から3月31日までである
 - 2) 会費を2年間未納の場合には除名の手続きをとる
- さらに、会員の権利について、
- 3) 会員は毎年2回の研究会誌、及びニューズレターの配布を受けられる
 - 4) 会員は研究会において発表することができる
- という2点も承認されました。

これまで、研究会誌は当該年度の会費を納入したものに限り送付する、という方針でしたが、今後は、会員である限りは会誌を受け取ることができます。さらに、以下の2点も承認されました。

- 5) ニュースレター等送付の際には郵送ラベルに会費納入年度を入れる
- 6) 毎年4月前後にお送りするニュースレターに、会費納入状況のお知らせを添付する。

会員の皆様におかれましては、今後は郵送ラベルの会費納入年度、会費納入状況のお知らせをご覧いただき、会費を年度初めには納入いただけますようお願い致します。(衣川隆生)

会則改定WG始動

運営委員会・総会報告にもありましたように、会則改訂に向けてのWGが始動しています。去る5月に第1回ミーティングが開かれました。以下のようなことがらが議論されています。

*会長選挙のありかた

- ・会長の選出方法
- ・事務局の場所 など

*運営委員会のありかた

- ・メンバーの固定化を防ぎ、新しい委員が入りやすいシステム
- ・新しいことをするためのメンバー補充
- ・偏りのないメンバー構成

*その他、会の活動を活性化するための方策

WGで検討された案を今秋の運営委員会で検討し、来春までには最終案を作成する予定です。

会費納入について

会費に関するお問い合わせ、会費の振込は以下の口座をお願いいたします。

会費を2年間未納の場合は自動的に除名となります。

*ご注意

この口座は電信払込しかご利用いただけません。

名前を先にお書きください

会費は3000円です。

振込先：(郵便局)

記号 10140

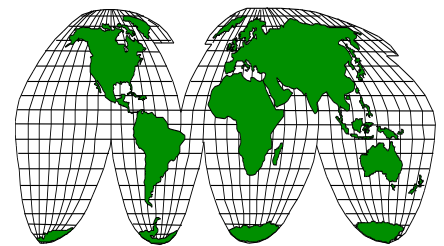
番号 69076511

加入者名：

日本語教育方法研究会

なお、会費納入状況についてなどご質問がありましたら、事務局までお問い合わせください。

連絡先：jlem@ryu.titech.ac.jp



・日本語教育方法研究会事務局

東京都目黒区大岡山 2-12-1

東京工業大学留学生センター

電話・FAX 03-5734-3522

e-mail:

jlem@ryu.titech.ac.jp

<http://www.jlem.info/>

・ニュースレター発行事務局

札幌市北区北8条西8丁目

北海道大学留学生センター

小林由子研究室内

e-mail :koba@isc.hokudai.ac.jp